

令和7年度 自己評価表（校務分掌部・学部）

※評価基準： A（～90％）＝達成できた， B（89～80％）＝おおむね達成できた， C（79～60％）＝ある程度達成できたが改善が必要， D（59％～）＝達成できなかった

	関連する 重点目標	取組目標	具体的な取組	保護者 アンケート	教職員 アンケート	評価 A～D	反省と課題及び改善策	
教務部	2②ICTを活用した授業、校務処理の充実	・ICTを活用したプラットフォームの提案と周知、校務処理の効率化およびさらなる充実を図る。	・校務処理を行うためのデータを提案、周知する際に、「タイムマネジメント」を組み込んで効果の「見える化」を行う。 ・既存のMicrosoft系アプリを利用して、授業や校務に活用できるようなシステムを構築し、活用できるようにする。				反省・課題	
							改善策	
学習指導部	1②児童生徒の発達の段階に合わせた系統的な指導を実践、生活指導の充実、キャリア教育の推進	・キャリア教育を意識した個々の目標を設定し、指導を行う。	・個々のキャリア発達段階の把握と教員間の情報共有。 ・本校のキャリア教育全体計画を参考にした個別の指導計画の作成。 ・卒業後の自立を見据えた、一貫した指導。				反省・課題	
							改善策	
児童生徒指導部	2①安全教育の推進と保護者・地域との連携による感染症、防災対策の徹底	・避難訓練、引き渡し訓練等の各種訓練の改善に取り組み、安全教育の充実を図る。	・避難訓練、引き渡し訓練等、各種訓練を実施し、改善に向けた具体策を出し、今後の訓練に生かす。 ・職員対象研修を実施することで、職員一人一人が安全教育に必要な知識を身に付けられるようにする。				反省・課題	
							改善策	
地域支援部	3①保護者・地域への情報発信を工夫し、地域社会に開かれた教育課程を目指す	・関係機関と情報交換を密に行い、地域のニーズを踏まえた情報発信の工夫を図る。	・特別支援教育連絡会や夏季研修、ボラスクの主催開催をする。 ・こぶしだよりの発行やHPで情報発信を行う。 ・登録ボランティアの活動内容を工夫検討し、計画実施する。				反省・課題	
							改善策	
健康指導部	4①教師が自主的・主体的に学び続けるための、研修機会の確保と実践指導力の向上	・関連する研修の内容を充実させ、職員の実践指導力の向上を図る。	・職員研修の充実 食物アレルギー対応・医療的ケアの時期を早め、より早い周知に努める。 ・Teamsや掲示等の活用 様々な研修の案内を周知するとともに積極的な参加を呼び掛ける。				反省・課題	
							改善策	

	関連する 重点目標	取組目標	具体的な取組	保護者 アンケート	教職員 アンケート	評価 A～D	反省と課題及び改善策	
進路指導部	3①保護者・地域への情報発信を工夫し、地域社会に開かれた教育課程を目指す	・社会生活や職業生活に必要な力について、保護者及び教員への啓発を図る。 ・進路指導について、保護者への啓発を図る。	・進路だよりを活用し、進路に関する保護者アンケートに記載のあった質問事項に回答する機会を増やす。 ・校長室前及び管理棟廊下、進路指導室前の掲示板に進路指導の啓発に関する掲示を行い情報を発信する。				反省・課題	
							改善策	
渉外部	3①保護者・地域への情報発信を工夫し、地域社会に開かれた教育課程を目指す	・保護者や同窓生と親の会、地域のPTA関係団体との連携を深める。	・PTA活動に参加しやすく、保護者が積極的に関わっていくような組織づくりや運営、行事や業務の見直しを行う。 ・HPや一斉メール等を活用し、積極的に情報提供をする。 ・同窓生と親の会主体での活動の支援を行う。				反省・課題	
							改善策	
特別活動部	3①保護者・地域への情報発信を工夫し、地域社会に開かれた教育課程を目指す	・運動会、こぶし祭の隔年実施、特別活動部の組織再編を検証し、今後に向けて定着を図る。 ・児童生徒会役員を中心に、学校内外の奉仕的な活動を検討、実施する。	・教育目標をより意識した行事（今年度は運動会）の実施 ・部活動運営方法の改善 ・JRCの奉仕的活動計画の検討（ペットボトルキャップ回収など）				反省・課題	
							改善策	
情報部	2②ICTを活用した授業、校務処理の充実	校務用データの整理や学校ホームページの充実を図りながら、保護者等に伝わりやすい情報発信の方法や教職員が機器やデータを利活用しやすい運用の方法の検討と推進を図る。	・Formsの効果的な利活用 ・Teamsの利活用 ・ZoomやYoutubeを使ったオンライン授業の充実 ・校務支援システムの機能の理解と活用 ・教材データの整理、学校HPの充実 ・Instagramの充実 ・生成AIやクラウドの活用				反省・課題	
							改善策	

	関連する 重点目標	取組目標	具体的な取組	保護者 アンケート	教職員 アンケート	評価 A～D	反省と課題及び改善策	
小学部	1 ①学習指導要領に対応した指導計画をもとに、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善	自立活動の指導において、個々の実態把握、ねらいを明確にした具体的な指導の実践や評価を行い、指導の工夫や授業改善を図る。	・自立活動支援シートに基づいた実態把握や目標設定をする。 ・自立活動指導内容一覧表や実践カードを用いて授業の実践や指導の工夫に生かす。 ・教員間で情報や教材を共有しながら、授業や指導の実践、評価、授業改善を継続的に行っていく。				反省・課題	
							改善策	
中学部	1 ①学習指導要領に対応した指導計画をもとに、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善	日常生活の指導における、関連する教科の明確化と年間指導計画に基づいた授業実践に取り組み、授業改善を図る。	・日生において教科を意識した授業実践を行う。 ・他教科、他領域の評価を日生の活動内容に取り入れ、授業改善を行う。				反省・課題	
							改善策	
高等部	1 ①学習指導要領に対応した指導計画をもとに、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善	・年間指導計画に基づいて授業を実践する中で、生徒の主体的な活動を引き出し、自己肯定感を高められるような評価の仕方とその活用について検討する。	・キャリア教育全体期計画や自立活動の課題を踏まえた個人目標を設定する。 ・各課程、各作業班でも話し合う機会を設定し、生徒の評価を共有する。 ・生徒の評価を踏まえ、より主体的な活動を引き出す環境を設定する。				反省・課題	
							改善策	
働き方改革委員会	4 ②働き方改革の継続、ウェルビーイングの推進と教職員の健康管理の充実	・業務改善と働きやすい、やりがいのもてる職場環境作りに努める。	・勤務時間の適正化(校内ライトダウンデーの実施) ・意識改革 ・業務改善(ICTの活用など) ・学校運営体制の充実 ・教職員間のコミュニケーションの円滑化と互いに支え合う雰囲気醸成				反省・課題	
							改善策	